

## 令和4年度第1回久留米広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会全体会 議事録

(1) 日 時：令和4年8月23日（火）14:30～16:10

(2) 会 場：久留米シティプラザ大会議室

(3) 出席者：

<委員>

世利洋介委員（座長）、中村正寛委員、實藤俊彦委員、益村千夏委員、赤尾哲之委員、古賀亮史委員、緒方博子委員、倉掛かおり委員、首藤有一委員、古澤輔氏（吉田憲和委員代理）、藤田達哉委員、岡村亮委員、吉岡マサヨ委員、野口裕子委員、眞子佳子委員、山崎享一委員、野口厚委員、中島佳奈美委員

<事務局>

久留米市総合政策部 今田広域行政担当参与  
総合政策課 中村主幹、仁田原主査、権藤主任主事

<構成市町>

大刀洗町地域振興課 村田課長、大木町まちづくり課 藤木

<ワーキンググループ職員>

※ワーキンググループは、以下WGと表記

(4) 欠席者：

穴見英三委員、石橋和典委員、岡本卓也委員、高木一希委員

(5) 次第及び議事：

1. 開会	
2. 委員自己紹介	
3. 座長・副座長の選任について 座長を世利委員、副座長を穴見委員とする事務局案を提案し、了承された。 ※当日は、穴見委員が欠席であったため、本人の意向を確認し、改めて報告することとした。	
4. 久留米広域連携中枢都市圏ビジョンについて (1) 令和3年度事業実績及び決算について	
事務局	[令和3年度事業実績及び決算について説明]
座長	委員の皆様の意見・質問をいただきたい。
座長	令和3年度の予算と決算に1億5千万円弱の差額が生じているが、コロナの影響により予算が執行されなかったという理解でよいか。
事務局	コロナの影響により、イベント等が中止されたことが主な理由である。
座長	執行残については、不用額として次年度以降には反映されないという理解でよいか、それとも翌年度以降繰り越して活用できるのか。

事務局	事業は単年度ごとに実施しているため、基本的に次年度に繰り越しされることはない。
<b>(2) 成果指標について</b>	
事務局	[成果指標について説明]
座長	委員の皆様の意見・質問をいただきたい。
座長	資料3中に「未集計」と記載があるものについては、いずれ埋めるという理解でよいか。
事務局	「未集計」と記載しているものについては、実績が出次第入力する。
<b>(3) 令和4年度事業計画及び予算について</b>	
事務局	[令和4年度事業計画及び予算について説明]
座長	委員の皆様の意見・質問をいただきたい。
座長	SDGsの視点を取り入れたとのことだが、今回の事業計画に、SDGsがどのように活かされているのか。全体的な視点でもよい。
事務局	第2期ビジョンについては、各分野の施策の方向性ごとにSDGsの17の目標と連動させている。例えば、圏域全体の経済成長のけん引の分野の施策の方向性「①産学官民が一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備」においては、SDGsの目標8の「経済成長と雇用」、目標9の「インフラ、産業化イノベーション」、目標11の「持続可能な都市」、目標17の「実施手段」と連動させて取組を行っている。
委員	農業分野はコロナだけでなく、円安、ウクライナ情勢、原油高、海運の混乱等の影響を受け、生産コストが上がっている。そのような状況の中で、販売価格に転嫁できるかという、生鮮品は、ほぼ市場原理で動いているので、20年前と販売価格は変わっていない。高齢化も進む中で、担い手をどうやって増やしていくのか、という大きな問題を抱えている。今後、担い手を増やす戦略が非常に重要になってくると思う。我々も担い手を増やす魅力的な取組、女性農業経営者を増やす取組等の戦略を考えている。是非この事業において、担い手を増やす魅力ある取組をしてもらいたい。併せてマーケットインという考え方も生産者の方に深めていただきたいと考えている。
委員	コロナを理由とした事業中止が多々あるが、次の段階に進めるように、コロナが出来ない理由ではなく、コロナだからできる理由が探せばあると思う。そういったことを念頭において事業計画を作成してもらいたい。 地域産業の育成という視点から言うと、福岡県もそうだが、創業支援はよく

<p>委員</p>	<p>ある。しかし、商工会の中でも後継者がおらず、事業継承できずに廃業するケースがある。伝統工芸の技術や地域の特色を活かしたものづくりが継承されないのはもったいない。事業継承についてバックアップしてもらえる体制が整ったら嬉しい。</p> <p>「物産展への出展事業」は、久留米地域地場産業振興センターが主体となって物産展を開催している。コロナの影響で、過去2回、2月に福岡で開催予定の物産展が中止になった。今年度は、次期をずらして、少しでも感染が収まっている時期にと思い、11月16、17日の2日間で、福岡市の天神地下街で開催するように準備を始めている。その際には、各市町の物産品を取り揃え、チラシ等を配布しPRができればと思っている。</p> <p>今回の事業で気になったところは、「ふるさと納税を活用した情報発信事業」である。私達もふるさと納税返礼品の出品を行っているが、新規の開発商品等を探して来るのも大変であり、PRするに当たり数を揃えるのにも苦労している。今年度、その当たりをどのように具体的に進めていくのが気になるが、こちらが協力できるところは、協力していきたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>産業振興の観点から発言させていただく。日頃付き合いのある企業からは、人材不足について指摘されることが多い。理系の人材がいないとか、人が集まらないという意見をよく聞く。福岡県全体もそうであるが、久留米市も人材を外に排出しているというのが現状だと思う。久留米大学や久留米高専のエンジニア等の人材を効率よく把握し、人材を地元に残しておく施策や仕掛けが今後必要になってくると思う。例えば、慶応義塾大学の先端生命科学研究所の富田教授は、地元ベンチャー企業を作って、最終的に人材が戻ってくる仕組みを構築した。そのような大きな視点で産業全体を育てる、人を育てる、そして、地元の人に人を定着させるということをやっている。ビジョンの連携事業においても、全体を関連付けて連動して動く仕掛けにした方が、時間がかかるかもしれないが、最終的にうまくいくと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>令和3年度の事業実績においては、「インバウンド推進事業」があるが、令和4年度の事業計画においては、海外に向けたPR等は無くなっているかと思う。なかなかコロナの終息が見えない状況で、海外に目を向けるというのは難しいかもしれないが、コロナの終息後、若しくはウィズコロナの状況の中のどこかのタイミングで海外の方が旅行に行く場面があるかと思うので、そこを見据えて何かしらの取組を継続していくべきかと思う。大川観光協会では、実現はしなかったが、木工体験のメニューの中で大川組子を海外の方に事前に発送して、リモートで体験してもらおうような企画を検討していた。このような引き続き知ってもらえるために、何かしらのサービスを提供して、関心を引き止める取組を考えてはどうか。</p> <p>「広域観光連携事業」のマイクロツーリズムに関連して、佐賀空港のキャン</p>

	<p>ペーンで、レンタカーを使って周辺を回ってもらおうという取組がある。そのレンタカーが安く、利用される方には非常に好評である。マイクロツーリズム、ウィズコロナにおいては、レンタカー会社と連携したキャンペーン等を行うことも非常に重要なポイントかと思う。</p> <p>「外国人が暮らしやすい圏域づくり事業」について、もう1点付け加えるのであれば、技能実習生を受け入れる側に対しても、困りごとの相談や悩みごとがある場合のサポートができる体制があればいいと思う。</p>
委員	<p>全てにおいて物価が上がり、少子化も加速する中で、全国的に子育てしづらい時代になっている。その中で、資料4の目指す将来像の「暮らしてみたい」については、若い世代に対する取組を行っていく必要があると感じている。ここで結婚して子供を育てたいと思わせる必要があるため、令和4年度の事業に子育てに関連する新たな取組がほしかった。人を増やしていくのであれば、その視点が大事だと思う。また、「美術鑑賞事業」について、低学年の頃から各地域の歴史について学び、地域を大事にしてもらうということも大切であると思う。そのため、美術鑑賞事業の取組にその視点も盛り込んで、広く行ってもらおうといいと思う</p>
委員	<p>「広域観光連携事業」について、モデルルートを作成してPRを実施することだが、どのように販売していくか決まっているのか。県も同様の事業を行っているので、同じように販売するのか気になる場所である。</p> <p>また、「ふるさと納税を活用した情報発信事業」について、これから共通の返礼品をつくることだが、9月に意見交換を行うということで慌ただしくなるではと思っている。</p> <p>それと、令和3年度の決算額について、うきは市が突出しているが、理由が分かるのであれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>うきは市と久留米市で新産業団地の整備に取り組んでいたため、うきは市の令和3年度の決算額が突出している。なお、令和3年度で誘致が完了している。</p>
広域観光・MICE WG	<p>「広域観光連携事業」は、販売するものではなく、福岡市、北九州市からどのようなモデルルートを作って発信すれば、マイクロツーリズムでこちらに来てもらえるか、どのような反応があるかを分析するものである。また、社会科見学ルートについては、コロナ禍において、ビジネスホテルに宿泊する県内の事業や近隣の修学旅行等が増えてきている。こういったものを久留米で受け入れるためのルートを提案してもらおう取組を考えている。</p>
座長	<p>申し訳ないが、時間になってしまったため、意見や質問がある委員については、事務局に寄せていただき、後日フォローをさせていただきたい。</p>

3. その他	
座長	その他、事務局からあるか。
事務局	(次回の久留米広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催時期について報告)
4. 閉会	